



2023年11月14日

各位

会社名 株式会社 う る る
代表者名 代表取締役社長 星 知 也
(コード番号:3979 東証グロース)
問合せ先 取締役 Co-CFO 近藤 浩 計
(TEL. 03-6221-3069)

2025年3月期以降の経営方針に関するお知らせ

当社は、2023年11月14日開催の取締役会において、2025年3月期以降の経営方針を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

2019年5月に開示いたしました5カ年中期経営計画が2024年3月に終了いたしますが、同中期経営計画終了後となる2025年3月期以降の方針として、「ULURU Sustainable Growth」を掲げました。これは、人的資本投資を中心とした成長投資やM&Aなどによって、売上高だけではなく持続的な利益の成長を目指すものでございます。「ULURU Sustainable Growth」の下、成長と株主還元の両立を目指してまいります。

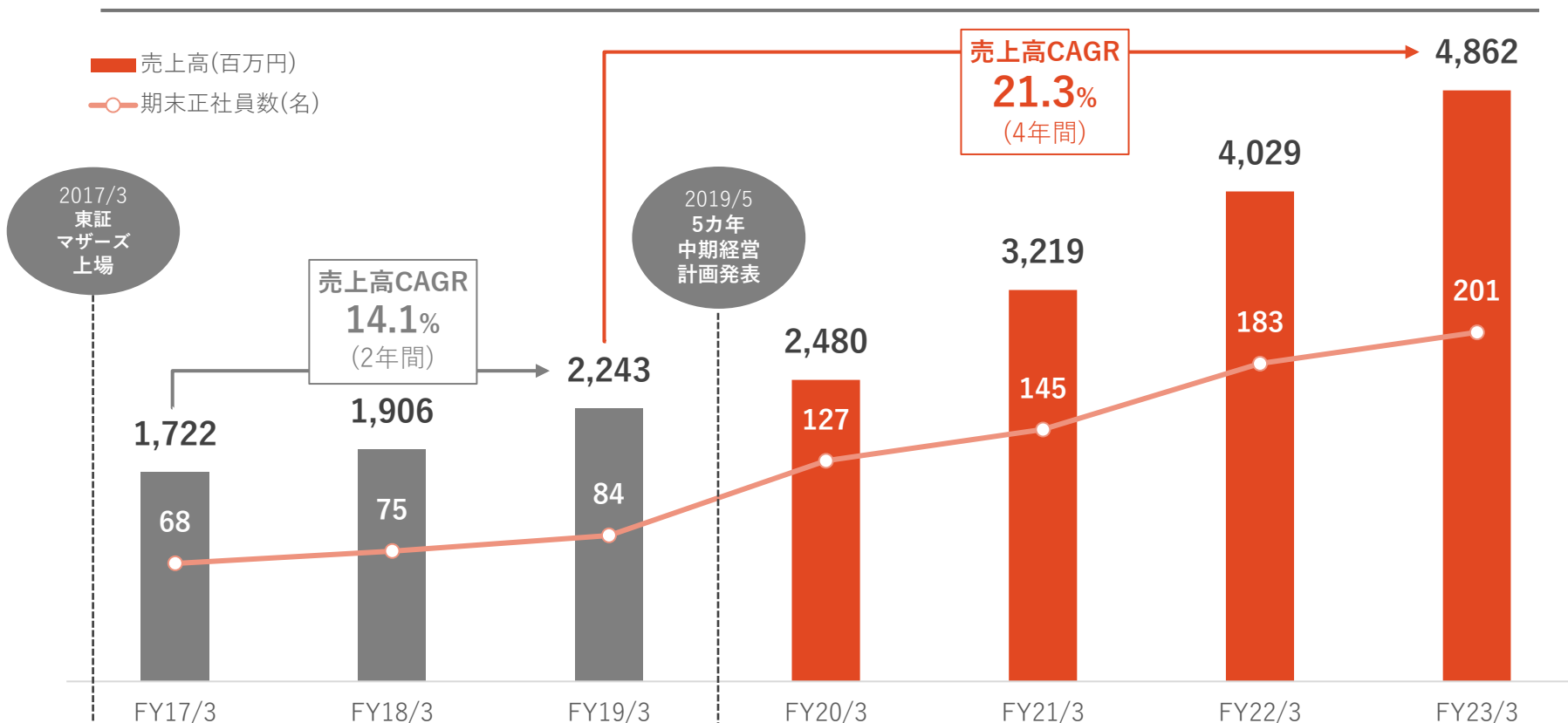
詳細につきましては、次ページ以降をご覧ください。

2025年3月期以降の経営方針・目指す姿

売上高成長と正社員数の振り返り

- 売上高CAGR(年平均成長率)は、上場後2年間で14.1%であったのに対し、2019/5中期経営計画発表後の4年間は21.3%と大きく改善
- 過去7年間の売上高と期末正社員数は極めて高い相関関係にある

売上高および期末正社員数の推移



過去7年間の
売上高と期末正社員数の
相関状況(決定係数)

$$R^2 = 0.9504$$

2025年3月期以降の方針開示に際して～代表取締役社長 星知也の想い

当社は、**2017年3月に東証マザーズに上場**いたしました。上場時に調達した資金を活用して会社を成長させたいという想いをもちつつも、**上場後2年間の売上高成長率は14.1%**と成長しているものの、満足のいく成長スピードを出すことができておりませんでした。

より成長スピードを上げるべく、「**短期的な利益追求ではなく、積極的に投資を実行し、さらなる成長と中長期的な企業価値の向上を図る**」というコンセプトの下、**2019年5月に5カ年中期経営計画**を発表いたしました。

同計画発表直後に大きく株価は下落し、**株主や投資家の皆様から厳しいお言葉**をいただくこともございました。株主や投資家の皆様とのコミュニケーションの取り方について、当社の未熟さを痛感することもございました。

その一方で当時より、中期経営計画をご覧いただき、**当社のチャレンジを応援してください**る**株主の方々**も少なからずいらっしゃいました。

2019年3月期実績として売上高22.4億円、EBITDA4.5億円であったのに対して、同中期経営計画では、計画最終年度である2024年3月期目標として、売上高48億円、EBITDA15億円を掲げました。

当時としては非常に高い目標設定でありましたが、同最終年度となる今期、通期業績予想として**売上高60億円、EBITDA15億円**という数値を開示し、目指せるところまで来ることができました。

同中期経営計画発表当時は、まだ**人的資本投資**という言葉が一般化しておりませんでした。先行投資として大胆に人材採用を行い、育成をしていくことで、事業の成長を図ってまいりました。**当社の持つ価値観・組織開発の仕組みが人材開発へと有機的に繋がり、従業員がイキイキと働き、成長し、パフォーマンスを発揮した結果、正社員の増加を売上高成長**につなげることができました。

同中期経営計画の結果が出るまではまだ時間がございますが、この目標を達成するべく引き続き邁進してまいります。

不確実性が高い昨今の環境下において、最近株主や投資家の皆様より、**中期経営計画後はどうするのか**、ということについてご質問をいただくことが増えてまいりました。そういったご質問に早くお答えしたいという考えの下、現中期経営計画を遂行中であるこのタイミングにおいて、**2025年3月期以降の方針**について開示することといたしました。

この度、当社は中期経営計画後の方針として、「**ULURU Sustainable Growth**」を掲げました。「ULURU Sustainable Growth」とは、**人的資本投資**を中心とした規律ある**成長投資**や**M&A**などによって、売上高だけではなく**持続的な利益の成長を目指す**ものでございます。将来的な上場市場区分の変更も目指し、少しでも早く、売上高が500億円、そして1,000億円を超えるような規模感の企業になっていきたいと考えております。

「ULURU Sustainable Growth」の下、2025年3月期は**EBITDA10億円を下限**として成長投資を行います。これはあくまで下限値であり、今期である**2024年3月期の売上高成長**や、**同2025年3月期に実施する成長投資の成果**により、**同EBITDA下限値10億円を上回る**ような結果も目指してまいります。

そして、同2025年3月期の成長投資をベースに、**2026年3月期以降は売上高、EBITDAともに年平均20%以上の成長**を目指し、**投資と利益成長の両立**を図ってまいります。

これまで当社を応援いただいた株主の皆様には感謝の念に堪えません。これをお示しするべく、中期経営計画最終年度となる**2024年3月期決算に基づいて、特別配当として配当性向30%**程度となるよう**株主還元**を実施したく存じます。また、**2025年3月期決算以降は、TSR(株主総利回り)の向上に向けて、中長期のEPS成長を重視**しつつ、その上で**普通配当として配当性向15%以上**を目安に、継続的に株主還元を実施していくことで、以後**每期増配**となることを目指してまいりたいと考えております。

「ULURU Sustainable Growth」の下、**成長と株主還元の両立**を目指し、経営してまいります。株主や投資家の皆様に引き続き応援いただけましたら幸いです。

2025年3月期以降の方針・うるるの目指す姿

- ビジョンの実現と当社の中長期的な成長を目的として、人的資本投資を中心とした成長投資を規律を持って行うことで、継続的な売上高・利益成長と株主還元の両立を目指す

売上高・利益成長

FY25/3

人的資本投資を中心とした成長投資を実施

EBITDA

10億円を下限値として投資予算を設定
(売上高成長等による下限値からの上振れも目指す)

FY26/3以降

引き続き人的資本を中心とした成長投資を規律を持って行うことで継続的な売上高成長と利益成長の両立を目指す

売上高
・
EBITDA

いずれも中長期で**CAGR20%以上**を目指す
(現状想定していない一時的な投資等により
単年度毎のEBITDA成長率は増減の可能性あり)

株主還元

株価上昇

EPS

中長期の**EPS成長**を重視することにより
中長期的な株価の上昇を目指す

配当方針

FY24/3
決算

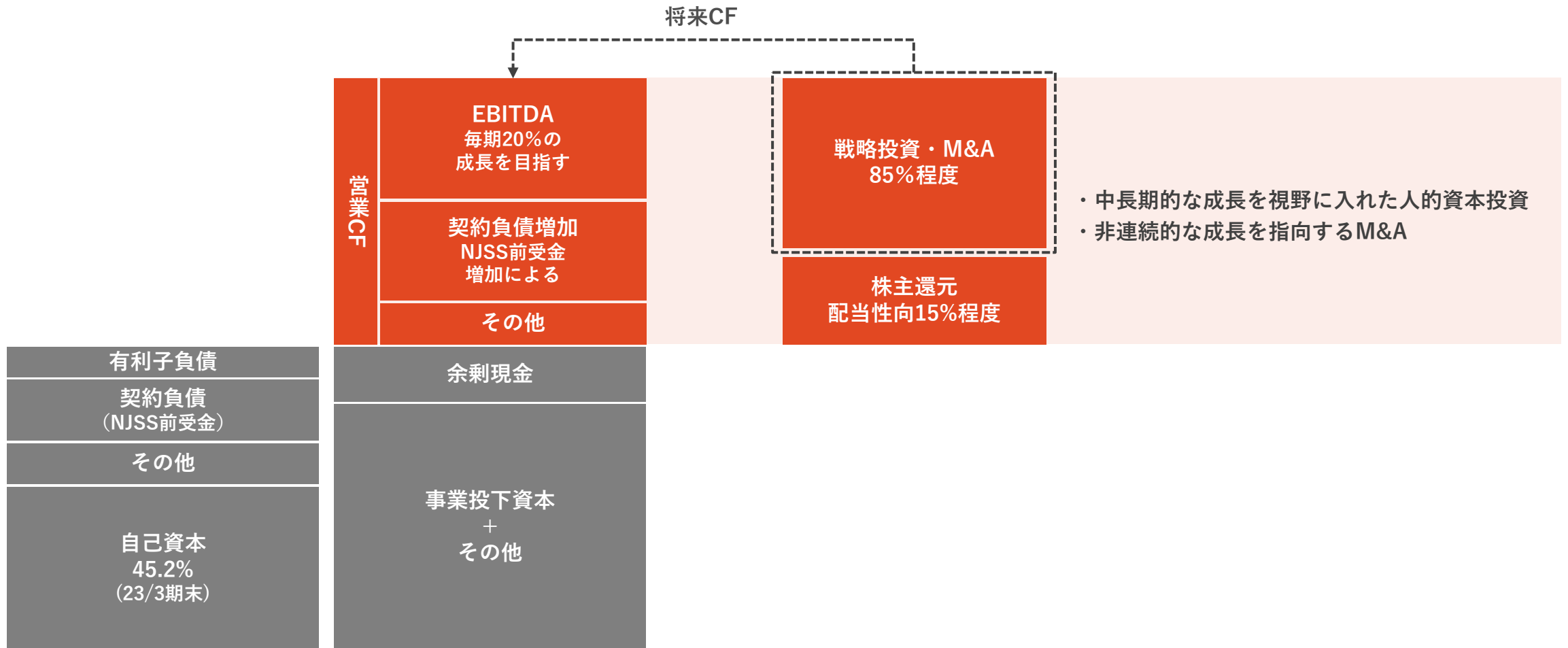
中期経営計画を応援していただいた株主の皆様
に向けた**特別配当**として**30%程度**
(1株当たり配当金 35円)

FY25/3
以降決算

普通配当として**15%以上**を目安とし
每期増配を目指す

※ 2024年3月期決算の内容や今後の情勢により、変更する可能性があります。

- 人材投資やM&Aなどの中長期的な成長に向けた投資を行いながら、安定的な株主還元も実現



本資料の端数処理につきましては、切り捨て(%表示の場合は四捨五入)を原則としております。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの基準と異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。

- 株式会社うるる <https://www.uluru.biz/>
- お問合せ先 ir@uluru.jp
- 公式IR X(旧:Twitter) https://twitter.com/uluru_ir